

馬川村より多神様なる一説一新ふ
権現といふ社所畧記ふに西の神と
あり社所五十六石一斗一本に合地所馬
川村馬所六石二面寛文八年申正月十日
所焼失存るに四十二石一本に合祭田外
ハ社所三人社所宝光寺ハ配分社事正月
二日の所より二日の所と権現の所ありそ
年の所所集り能三處を馬所一聖社
所におめて能三處あり三日能所八九
斗の長石五斗に馬所を馬所を馬所

おし立裏を穿て廟子形とてその下に小童を
出して大鼓ありあをて通子相を祝ふそ又
白拍子通都の人乃志る所に何をも云ふ
所ハ馬所の所とそ古人古くは
は配流とて申案を好むひて教ありと
ハ社所百姓お傳てマテワキ大鼓乃
役所所くに五傳てそ役をまて一書に融
大鼓の遺跡なりといふ大山と鶴と馬との
間に山田矢橋といふ村あり昔配流の公に
加茂の浦より祀よりありをありと所